

# 地域防災のためのシステム開発と実践活動

耐震化推進や地域防災力向上のためにはそれを実行する人の力が不可欠ですが、それらの活動を支える啓発のためのシステムや教材も非常に重要です。そこで、我々は、WebGISをプラットフォームとしながら様々なサブシステムや実際の教材などを連携させ、住民が地震対策の必要性に「気づき」「学び」「実践」することができる一連の仕組みを構築しています。合わせて、減災に向けた啓発活動を行っています。

## ●安震システムの構築

このシステムは、災害の独自性をふまえた情報の整理にむけ、ウェブGISベース、多様な立場による情報共有、様々なセンサーやカメラ映像などの統合、地域防災拠点やワークショップ支援機能など、その後の防災・災害情報システムの研究につながるアイデアを含んだシステムです(図1)。



## ●愛知県防災学習システム

このシステムは、文部科学省の公募事業「防災研究成果普及事業」の中で、県及び名古屋大学、名古屋市が連携実施した研究成果「地域防災力向上システム」を活用して整備したものです。このシステムでは、住民ひとりひとりがインターネット上で簡単に大地震の際の自宅の模擬映像をみたり、地域の防災情報等を得たりすることができます(図2)。

図1 安震システムの全体構成  
([http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/laboall/reports/2007\\_saigai/saigai-distr/kaken-saigai-all.pdf](http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/laboall/reports/2007_saigai/saigai-distr/kaken-saigai-all.pdf))

図2 愛知県防災学習システム  
(<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>)

## ●防災フェスタの開催

「防災フェスタ」は、2007年3月、市民・大学・企業・行政の協働によりスタートし、名古屋大学を会場として開催されました。2008年は港区と緑区、2009年は岡崎市、安城市、2010年は久屋大通り、2011年はテレビ塔周辺で開催されました(図3)。



図3 防災フェスタのちらしと当日の様子  
(<http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/event/bousaifesta/index.html>)

## ●あいち耐震まちづくり青少年啓発事業

愛知県では、小・中学生を中心とした青少年を対象に、地震から命を守るための「家の耐震化」、「家具の転倒防止」を主眼においた「耐震まちづくり」啓発活動を新たに提案し、これまでにその枠組みづくりや教材作り等の準備、試行を行っています。当研究グループも、本事業に参画しました(図4)。



図4 あいち耐震まちづくり青少年啓発事業(テキストの抜粋と授業の様子)  
(<http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/event/aic.html>)

## ●災害シナリオ体験アプリ: escape

このシステムは、震災に遭う前に震災のことを「学び、感じ、考えて」いただくためのツールで、大震災に遭遇したある家族の物語を絵本のように見ることができます。物語の途中ではその場面にあった解説もあり、地震に備えるためのエッセンスが詰まっています。

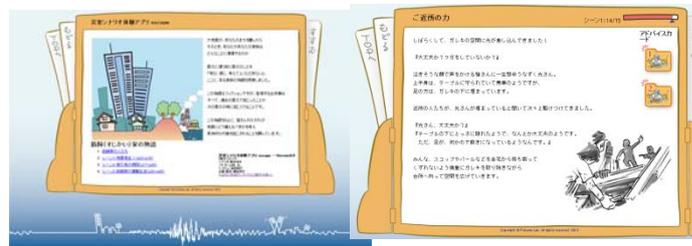


図5 災害システム体験アプリescape「筋飼(すじかい)家の物語」  
(<http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/escape/>)

### 参考文献:

- 福和伸夫、坂上寛之、花井勉、高橋広人、飛田潤、鈴木康弘: 耐震化を促進するための地域防災力向上シミュレータ、日本地震工学会論文集 第7巻、第4号、pp. 5-22、2007. 7
- 「双方向災害対応ネットワークによる災害情報インテグレーション」研究成果報告書 (文部科学省科学研究費補助金) (2007. 12. 10)
- 倉田和己、福和伸夫、飛田潤: 効果的な防災意識啓発を支援するためのWebGIS開発、地域安全学会論文集、No. 10、pp. 293-300、2008. 11
- 福和伸夫、倉田和己、飛田潤、護雅史: 減災行動誘導のための地震ハザード・リスク情報の説明力向上に関する研究(その1) GoogleEarthを用いたハザード・リスク情報の相互運用、日本建築学会学術講演梗概集、pp. 209-210、2009. 8

